

たちばな

2022.10.1



(昨年度 橘花祭開催時の正門の様子)



新型コロナウイルス感染症に伴う本学の対応につきましては
大学公式ホームページ (<http://www.ris.ac.jp>)にて随時
公開しております。



立正大学校友会
公式ホームページ



立正大学校友会
公式LINE

令和4年度校友の集い ホームカミングデー in 橘花祭 開催のご案内

昨年に引き続き、学生主催の『橘花祭』と同時にホームカミングデーを開催致します。
対面での開催を予定しており、感染対策を講じながら実施致します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【日 程】

開催日時：令和4年11月5日（土） 10：00～ 17：00

会 場：立正大学品川キャンパス

【教室企画】

◆キッズルーム（オムツ交換・授乳コーナー完備）

（社会福祉学部同窓会協力）

時間：10：00～ 17：00

会場：1号館1階 第3会議室



キッズルーム



◆立笑（正）点

時間：13：00～ 14：30

会場：1号館4階 第7会議室



立笑点



立笑点

◆橘会 就職講演会（キャリアサポートセンター協力）

時間：11：00～ 12：30

会場：9号館地下2階 9B21教室

◆教職の集い（教職教育センター）

時間：10：00～ 17：00

会場：9号館4階 942教室・943教室

第1部：記念講演会・講演会

第2部：現在の教採対策紹介・卒業生の授業実践の様子

（ビデオ等で紹介）・教職履修者より・教職履修学生相談会

第3部：交歓会



就職講演会

◆データサイエンス学部紹介

時間：教職企画第3部交歓会内

会場：9号館4階 942教室・943教室

◆大学院文学研究科 修了生の集いの場

時間：15：00～ 16：00

会場：9号館3階 932教室



大学院文学研究科



大学院文学研究科

【テント企画】（*売り切れ次第終了）

■ダイワロイネットホテル

■同窓会女性部会

【ホームカミングデーに関するお問い合わせ】

立正大学学長室校友課 TEL：03-3493-6673 Email:alu@ris.ac.jp

ホームカミングデー

教職の集い

教職教育センター×校友会 協働企画!!

10:00~17:00

942教室・943教室 (9号館4階)

今年度は初めて、ホームカミングデーで教職関係者の交流の場を設けます。

現在教職に就かれている皆様、すでに教職を退かれている皆様、そして教職を目指している在学生の皆様が一堂に会する場は中々持てないと思います。

今回皆様にお集まりいただき、旧交を温めて頂くと共に、在学生との交流も行って頂く場にしたいと思います。一部のプログラムのみの参加も可能です。

★記念講演会

10:00~12:00

【第1部】

★ゲストティーチャーによる講演を予定

★講演会

・新規採用教員・5年目までの教員・ベテラン教員
各立場からそれぞれに感じている教育現場の話

★現在の教員採用の現状や対策の紹介

13:30~15:00

【第2部】

★卒業生の授業実践の様子 (ビデオ等で紹介)

★教職履修者より・教職履修者による相談会

★交歓会

15:20~17:00

【第3部】

*詳細は今後決定次第ホームページ・LINE等で配信致します。多くの方のご参加をお待ちしております。

★データサイエンス学部のご紹介

教職企画の第3部の交歓会の中で、スライドを使用し、データサイエンス学部の紹介を行います。また情報教育に関する情報交換を卒業生や在学生と行う予定です。是非、ご参加ください。



大学院文学研究科 修了生の集いの場

『笑う門には何がある!?』

15:00~16:00 932教室 (9号館3階教室)

講演: 森田直子准教授

伊澤高志准教授

板橋勇仁教授

大学院文学研究科 修了生の集いの場は、「笑う門には何がある!?」と題して3名の先生方でシンポジウムを行います。文学研究科の研究テーマの一つである「笑い」は、人間にとって欠くことのできないものです。一方で感染予防のためのマスクは、たくさんの笑顔を覆い隠してしまいましたが、他方でわたしたちは、「笑い」によって励まされ、困難を乗り越えてきました。このシンポジウムでは、修了生の皆さんにも気軽に参加していただき、「私にとって、笑いとは何」という視点にたつて、時には真面目に、時には笑って、一緒にお話しできればと考えております。ふるってご参加ください。

卒業生参加型企画 講演会

13:30~14:30

921教室 (9号館2階)

全盲弁護士の夢のかなえ方

~「だから無理」より

「じゃあどうする」の方が面白い!~

《講師》大胡田 誠 氏

=講師プロフィール=

1977年静岡県生まれ。先天性緑内障により12歳で失明する。

慶應義塾大学法学部卒業、慶應義塾大学大学院法務研究科 (法科大学院) 修了後、2006年司法試験に合格し2007年弁護士登録 (第一東京弁護士会) 全盲で司法試験に合格した日本で3人目の弁護士になった。

2019年9月、東京都港区白金台におおごだ法律事務所を開設。一般民事事件や家事事件、企業法務に加え、障害者の人権問題にも積極的に取り組んでいる。

=出版著書=

◆全盲の僕が弁護士になった理由

~あきらめない心の鍛え方 (日経BP社)

2014年、松坂桃李主演でドラマ化され大きな反響を呼んだ。

◆今日からできる障害者雇用 (共著、弘文堂)

◆決断。全盲のふたりが、家族をつくる時 (中央公論新社) 妻 大石亜矢子氏と共著

◆コロナ危機を生き抜くための心のワクチン -全盲弁護士の智慧と言葉- (ワニブックス)



同窓会女性部会 × 北海道東川町 協働企画

11:00~15:00 学生広場 テント

橘花祭におきまして、立正大学同窓会女性部会の活動をスタートします。

今回は、北海道東川町のご協力のもと、「物産展」を開催する運びとなりました。



同窓会会員 (女性) の皆様、会場にぜひお出かけくださいますようお願い申し上げます。

また、今年度立正大学学園開校150周年の年でもあり、150周年記念館も完成しており新しくなった品川キャンパスと懐かしい同窓生と出会うこともできます。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

東川町の「物産展」の詳細は、決定次第、校友会 (同窓会) ホームページ・SNSにてご案内申し上げます。

保護者懇談会開催に関するアンケートについて

来年の保護者懇談会開催について、開催地や懇談会の内容等を今よりもっとよりよいものにしていくために、各会場でアンケートのご協力をお願いしております。より多くの保護者の皆様のご意見を頂戴したく、これまで参加されていない方も「こういう懇談会だったらいいな」「開催地がここなら行ってみたい」などございましたらぜひお声をお寄せいただければ幸いです。2～3分ほどのアンケートになりますので、下記URLまたはQRコードを読み取っていただき、各設問についてご回答をお願い申し上げます。

アンケートURL▶<https://forms.office.com/r/ZUkA9GWaMa>



保護者懇談会開催報告

令和4年度の校友会保護者懇談会につきまして、本誌発行現在、下記日程で対面にて開催を致しました。昨年引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じての開催となり、ご参加いただきました保護者の皆様ならびに開催地となりましたホテル関係者の皆様には、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| ◆ 6月4日（土）新潟県新潟市「万代シルバーホテル」 | 参加者： 29名 |
| ◆ 6月11日（土）岩手県盛岡市「ホテルメトロポリタン盛岡」 | 参加者： 6名 |
| ◆ 7月17日（日）東京都品川区「立正大学品川キャンパス」 | 参加者： 467名 |
| ◆ 8月6日（土）静岡県静岡市「中島屋グランドホテル」 | 参加者： 7名 |
| ◆ 9月10日（土）福岡県福岡市「ホテルモントレ ラ・スール福岡」 | 参加者： 6名 |
| ◆ 9月11日（日）大阪府大阪市「大阪キャッスルホテル」 | 参加者： 8名 |
| ◆ 9月24日（土）千葉県千葉市「ホテルグリーンタワー幕張」 | 参加者： 34名 |

<品川キャンパス開催の様子>



理事長挨拶



学長挨拶



位田副学長挨拶



学生カウンセリングルームカウンセラー講座



保護者のための就職講座



令和3年度 立正大学校友会事業報告書 (令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日)

事業		内容
会議	校友会委員会	第1回 (4月14日) 令和3年度役員承認、令和2年度事業報告・決算報告承認、構成団体事業報告・決算報告承認、委員会日程確認。校友会成績優秀奨学生規程改正について、大学院研究奨励採用者報告、橋会奨励賞採用者報告、他
		第2回 (10月6日) 大学院研究奨励採用選考、ホームカミングデー開催について、橋会役員交代報告、保護者懇談会開催報告
		第3回 (12月15日) 令和3年度事業・予算消化状況報告、令和4年度事業計画・予算承認、令和4年度委員会開催日程、令和4年度保護者懇談会日程について、構成団体令和3年度事業予算等消化状況報告、ホームカミングデー報告
		第4回 (3月16日) 校友会成績優秀奨学生選考、大学院研究奨励賞採用者報告、校友会費残額(予備費)学生支援について
校友会主催講演会	新型コロナウイルス感染防止・緊急事態宣言に伴い、開催を中止	
校友の集い	11月6日(土) 品川キャンパス ホームカミングデー in 橋花祭 * 橋花祭との同時開催 * 同窓会・橋会協働連携	新型コロナウイルス感染症防止対応により、規模を縮小し、飲食等を伴わない形で開催 立正大学橋会主催キャリアサポートセンター協力による企業人事担当者による講演会とパネルディスカッション 参加者数：93名 立笑(正)点 寄席 参加者数：45名 大学院文学研究科修士の集い講演会(板橋教授・鈴木教授・則武教授) 参加者数：60名 大学史料編纂室協力による大学歴史パネル展示 参加者数：100名 社会福祉学部同窓会によるキッズルームの運営 参加者数：12組
	全国12会場での開催 * 新型コロナウイルス感染症防止対応のため、同窓会との協働連携開催は見合わせ	◆7月11日北海道札幌市=9名◆8月7日福島県郡山市=まん延防止発令により中止◆8月8日宮城県仙台市=まん延防止発令により中止 ◆9月4日埼玉県さいたま市・9月12日千葉県千葉市・9月25日広島県広島市・9月26日大阪府大阪市=緊急事態宣言発令により中止 ◆10月10日品川キャンパス(1名限定参加)=212名◆10月23日新潟県新潟市=8名◆11月13日静岡県浜松市=5名 ◆11月14日福岡県福岡市=参加者なしに伴い中止◆12月15日熊谷キャンパス=120名 学長・理事長・担当副学長による大学の取組の説明、保護者のための就職講座、学生カウンセリングルームカウンセラー講座(キャンパスのみ) 学部紹介(キャンパスのみ)、個別面談、キャリア個別相談、他
広報活動	校友会報「たちばな」 校友会ホームページ・facebook・LINEの活用	第47号(4月1日発行)・第48号(10月1日発行) 約94,000部 保護者懇談会開催・報告、卒業生活動情報、校友会開催行事案内・報告、大学同窓会開催行事案内・報告、橋会活動案内・報告、郵政会開催行事案内・報告、大学150周年記念事業関連記事等随時更新対応
	生涯メールサービス利用提供	校友の輪を広げ校友会活動活性化のため、卒業後に無償で利用できるメールサービスを提供。大容量のメール送受信ができ、カレンダー機能等の利用により大学学年暦、校友会行事日程等にも触れやすく機会を作っている。
在学生支援	校友会案内リーフレット作成・配付	入学生・卒業生・在学中の保護者および卒業生、教職員・名誉教授等へ配付
	入学記念品贈呈	大学キャラクターモラリす印刷モバイルバッテリー(3,100個)*新入生ガイダンス時贈呈
	卒業記念品贈呈	大学同窓会 23,061,250円・郵政会900,000円・万年筆セット(2,500個)*学部卒業式・大学院修了式贈呈 日蓮宗数珠同封
	校友会成績優秀奨学生	9学部16学科 学年 合計 99名へ授与。(各学部成績上位者)
	校友会特別助成費	新型コロナウイルス感染症防止に伴い課外活動自粛、大会等中止に伴い今年度は請求が無かった
	大学院研究奨励金	申請件数3件・奨励金授与件数3件
	奨励賞(橋会協働連携)	優秀賞(100,000円)1件・努力賞(50,000円)1件
	英会話ラウンジ助成事業	学部学生に英語教育を補助し国際的な人材育成を目的に、学事課・国際交流課と協力し講師委託を実施
会員情報管理	課外活動助成費	一般助成・特別助成 11,800,000円
	学園祭実行委員会助成	橋花祭実行委員会：2,400,000円・星橋祭実行委員会：2,400,000円
	国際交流センター在学生支援事業費	1,500,000円(海外でのインターンシップ並びにボランティア活動等奨学金)
構成団体支援	構成団体助成費	新卒者登録：令和3年3月新卒者および令和3年9月新卒者を登録 既存の校友会会員管理システムによる情報収集・管理運用と同時に、新システムへの移行対応を行い、新システムへの情報の移行が完了し、新システムで運用を開始した
	構成団体活動支援	校友会構成団体への大学からの助成金支援実施 大学同窓会 23,061,250円・郵政会900,000円・橋会 助成なし。但し橋会として使用した費用は校友会より支出 【同窓会】代議員会書面議決に関する事務的作業協力、理事会・各種委員会運営実施に関する支援、学生支援に関する学内調整支援 【橋会】役員会議・意見交換会実施支援、学生支援に関する学内調整、奨学金立上げに関する大学との連絡調整等対応 【郵政会】郵政会の活動に関する支援 校友会委員会への同窓会・橋会・郵政会役員出席・意見交換等
その他	校友会B(卒業生会費)徴収対応	卒業生・現任教職員等への校友会費B振込依頼実施 令和4年3月31日集計結果 1,373件・3,883,634円(手数料他差引額)
	校友会委員会意見交換会 名誉教授倶楽部支援	新型コロナウイルス感染症防止の対応により、令和3年度実施なし 新型コロナウイルス感染症防止の対応により、令和3年度実施なし

令和3年度 立正大学校友会収支決算報告書 (令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日)

収入の部			
科目	令和3年度予算	令和3年度決算	増減
校友会費A	123,880,000	123,352,000	528,000
校友会費B	4,500,000	3,893,055	606,945
総計	128,380,000	127,245,055	1,134,945

支出の部

科目	令和3年度予算	令和3年度決算	増減
福利厚生費	27,169,500	27,573,295	△ 403,795
奨学費	32,150,000	28,200,000	3,950,000
学生支援補助費	2,000,000	1,999,999	1
構成団体助成費	23,961,250	23,961,250	0
人件費・雑給(アルバイト代)	835,254	660,332	174,922
会議会合費	1,770,000	68,684	1,701,316
旅費交通費	300,000	5,640	294,360
通信運搬費	10,154,500	10,132,262	22,238
印刷製本費	8,393,837	5,502,694	2,891,143
手数料報酬	360,000	247,366	112,634
公租公課費	20,000	0	20,000
委託費	4,004,600	3,754,517	250,083
賃借料	4,400,000	2,802,860	1,597,140
合計	115,518,941	104,908,899	10,610,042
校友会積立金	2,000,000	2,000,000	0
予備費	10,861,059	0	10,861,059
余剰金	0	20,336,156	△ 20,336,156
総計	128,380,000	127,245,055	1,134,945

校友会費B等納入者芳名 (敬称略 五十音順)

～ありがとうございました～

(令和4年4月1日～令和4年8月31日納入分)

◆北海道

合瀬 元貴
石井 美枝子
磯尾 延行
伊東 正明
大山 元司
川澗 怜
久保 信幸
今野 公一
釋 英照
釋 英義
釋 ひかる
杉崎 公夫
立谷 浩誓
中川 啓承
西田 則夫
濱崎 智淳
廣瀬 惠清
廣瀬 恵伸
村椿 幸二

◆青森県

楠美 隆嗣
工藤 明
齊藤 誠悦
品田 均
漆館 栄一
津軽 随至
藤田 龍郎
間宮 康文

◆岩手県

池田 雅孝
宇野 智謙
金森 光一
川村 均
斎藤 純
齊藤 道愛
滝田 浩之
田鎖 英明
中野 吉亨
西山 昌秀
藤原 耕道
古川 栄子

◆宮城県

阿部 邦英
兼重 英忠
佐藤 泰宣
四重 健彦
中川 淳芳
永戸 太郎
布施 東吉
目黒 功

◆秋田県

赤川 真也
伊藤 弥
海道 利夫
加藤 博明

工藤 利典
土田 知揮
戸澤 圭悦
長谷山 信介

◆山形県

秋葉 良一
今野 隆
佐藤 毅
鈴木 明弘
高橋 重志

◆福島県

浅野 不二男
太田 正孝
佐瀬 栄
佐藤 優之介
菅原 海淳
鈴木 秀鳳
鈴木 務広
永沼 直好
生江 孝充
新妻 宏明
羽田 豊秋
浜崎 本子
水添 博
矢吹 康英

◆茨城県

天谷 俊一
飯塚 恭孝
泉 隆之
植田 浩
大林 由美子
木村 浩二
桐山 新一
佐藤 正人
柴田 幸二
田口 茂
遠山 是進
中村 三喜
三上 要玄
望月 海彰

◆栃木県

大島 一人
小川 吉史
川上 直美
斎藤 隆宣
齋藤 順昭
沼田 浩之
◆群馬県
赤坂 一郎
梅澤 百合子
木暮 百合恵
佐藤 洋
須田 雅行
関口 拓
永澤 義弘
長沼 克弥
西島 岳史

根岸 衣美子
松井 雄三
矢島 千乃

◆埼玉県

相原 伸司
新井 朋子
新井 正人
石黒 誠
石橋 みつ子
井上 隆二
今井 一忠
岩崎 晴典
上野 千津子
江積 広光
大崎 廣一
大塚 博
岡野 美佐子
奥口 賢
柿澤 保幸
片岡 勇次
上村 三郎
川島 本良
木村 亞人
栗田 純一
小林 と志子
小林 美惠子
小山 久夫
齊藤 勝次
坂上 豪洋
坂田 三允
佐藤 敦
佐藤 弘道
佐山 邦彦
設楽 健士
鈴木 規夫
鈴木 順浩
鈴木 敏子
鈴木 文敏
鈴木 敏雄
高橋 精一
高橋 孝志
立澤 恭子
田中 一嘉
田野口 和也
田村 一則
時松 友二
永田 榮計
長堀 明英
野辺 とに子
花輪 壮一
濱畑 芳和
檀山 正夫
松尾 鉄城
松田 洋昭
眞野 初
宮地 達宏
村井 章介

村木 学
山口 雅功
山本 亨
横田 純
吉澤 寿子
吉富 明義
米林 伸
鷲尾 祐喜義
渡邊 美都

◆千葉県

穴山 清一
池田 善久
石井 益美
石渡 亜喜子
遠藤 大久保
大久保 康雄
大熊 義則
大森 俊栄
岡野 久
荻野 泰継
榎原 郁夫
加瀬 守
片岡 邦雄
勝田 紀彦
兼子 卓也
上村 久雄
川村 靖朗
北尾 義昭
小島 修
小瀧 レイラ
小山 善之
佐藤 誠
澤山 和生
十文字 佐太吉
妹尾 理
関 陽子
竹中 真昭
田中 貞真
田中 貞龍
田中 安人
塚越 崇徳
塚越 てい子
中村 廣己
中山 光治
服部 英司
原 秀明
播磨 栄一
藤井 秀司
藤崎 剛
船越 俊雄
星野 栄
前島 淳一
前島 百合子
松本 照朗
天目石 一也
水谷 和美

宮本 達也
室田 眞利
森 文彦
横山 幸永
吉田 弘

◆東京都

青木 重幸
赤塚 正坦
芦川 守
東 信義
荒居 妙蓉
天野 泰仁
飯沢 伸一
井口 範英
石井 三郎
石原 秀明
伊藤 伸一
伊藤 秀紀
伊東 信夫
今村 泰子
入江 祥史
岩尾 康延
岩崎 光浩
岩田 利延
岩本 順和
宇田川 彰
大野 恵弘
岡 昭治
岡 玄康
岡部 禎司
小川 政紀
風岡 稔
春日 寛
金子 明史
金丸 進一
鎌田 富貴子
上村 浩
河又 浩昭
冠 賢一
岸 由晴
喜本 真一
久保田 正尚
栗田 幸治
黒藪 修司
小出 茂昭
小林 浩茂
駒野 教晴
近藤 善敬
齋藤 智也
坂井 成一
坂詰 教正
坂本 巴由
坂輪 宣敬
櫻木 光司
佐野 嘉之
柴 賢悟
嶋 海里

島崎 康夫
白井 和樹
菅野 和憲
杉山 充洋
関根 玉枝
高田 和明
高橋 美由紀
高村 弘毅
瀧澤 裕之
田坂 裕章
多田 統一
棚岡 松夫
田中 寛
田中 英治
岡岡 豊
椿 太

津村 正康
津村 正信
寺尾 英智
外山 寛穂
永井 啓文
中川 守
中里 栄一
中沢 信一
中澤 隆一
中西 勉
中村 樹
中村 信子
中村 哲也
中村 妙子
灘小 晋太郎
西崎 友一郎
野村 伸子
初見 達郎
馬場 富男
原田 忠彦
肥後 吉実
彌 信道
平井 英一
平賀 和也
廣瀬 衛
藤本 幾久
藤原 賢也
星野 顯聡
堀之内 三雄
前田 康夫
増田 妙子
松野 好一朗
丸岡 静
益田 尚久
丸山 敦志
三浦 慎一郎
水上 裕子
水谷 美恵子
水谷 清
水野 洋
水間 覚代

峯岸 邦夫
宮田 慶
宮本 雄太
村山 一幸
望月 兼雄
萩山 正行
桃井 西郎
森 健二
安野 敏明
山畑 邦裕
横山 裕
芳田 守
渡辺 裕美子
渡邊 宝輝
渡邊 彰良
渡辺 安記子

◆東京多摩

石井 秀子
安井 美佐江
◆神奈川県
青木 保男
浅井 慶信
石井 耀心
石川 栄子
石塚 功二
井上 和弘
今川 喜一
内田 美智子
大黒 和登
太田 孝哉
小形 能広
小川 浩正
奥村 恵一
小田川 紘子
小田切 俊樹
海原 泰江
勝保 眞和
加藤 和夫
加藤 成一
金井 義博
金子 元彦
上村 巨
倉多 亮修
倉本 隆一
黒田 昭司
国府田 義昭
後藤 克教
佐川 篤志
提箸 利男
佐々木 義正
鈴木 洋一
鈴木 恒美
須藤 教裕
関根 泰幸
高作 玄晃
高橋 和宏
田川 貞光

竹内 成行
内藤 潔
長沢 隆大
永沼 光一郎
中村 泰啓
中山 茂
西村 健
原 輝男
平本 俊弘
古田 俊雄
堀内 良明
増田 幸静
松村 三功
丸島 光雄
三澤 金一郎
三宅 貫久
森井 健吉
森井 茂
森田 喜久
守屋 宣成
八木下 孝美
柳川 仁江
山口 直人
山崎 和海
山村 徳
山本 滋雄
山本 健二郎
吉澤 大八朗
吉浜 邦夫
脇本 譜次男
渡辺 英志
渡辺 哲康

◆新潟県

秋山 文孝
金子 康之
小林 謙一
小林 亨
駒形 敏朗
佐藤 久美子
鈴木 正喜
中町 理
飛田 泰二
平野 栄一
松月 秀一
和栗 昌夫
渡邊 剛義

◆富山県

坂本 哲治
清水 浩二
多喜 正文
鉢呂 福子
南 博文
南 幸博
本林 利吉
山本 充彦
山本 毅嗣

◆山梨県
朝比奈 玄馬
内野 日総
苅込 義旺
菊地 是宗
角田 義晶
中澤 浩祐
町田 英昭
渡辺 寛勝
◆長野県
石合 祐太
大熊 英徳
神田 孝夫
倉石 康成
櫻井 政信
佐藤 幹弘
高見 俊輔
瀧澤 空
鶴見 明夫
徳嵩 一久
原 親男
原田 健大
福島 隆雄
山本 邦雄
渡邊 忠信
◆岐阜県
井道 哲志
柿下 佳成

北川 淳司
矢野 忠臣
◆静岡県
伊藤 佳通
植木 和久
瓜島 信行
太田 芳伸
加藤 真澄
狩野 吉利
木村 光正
清宮 是勇
佐野 湛要
手島 英真
則武 海源
廣崎 本幸
深澤 尊明
深澤 恭徳
福島 東
藤谷 定義
古田 芳郎
村木 克郎
望月 真澄
森 廣
安田 幸彦
矢田 多摩子
鷲巢 雅一
渡辺 洋子

◆愛知県
石黒 泰良
石原 俊彦
伊藤 友謙
大森 浩
小久保 要子
近藤 俊徳
澤木 利氏
田中 佐与子
深沢 友遠
深沢 友延
渡邊 考哲
◆三重県
坂倉 浩二郎
林 裕行
◆滋賀県
杉本 正光
中紙 賢孝
中村 龍明
福山 賢修
◆京都府
石田 良正
佐藤 文則
長谷川 正法
堀田 泰盛
◆大阪府
興田 敏夫
口野 重昭

鈴木 日巧
長谷川 鳳秀
◆兵庫県
井本 学明
大上 雅紀
大根田 聡
河村 瑞栄
北野 実
小出 信篤
末道 義隆
高野 顕昇
豊田 春喜
林田 至弘
藤井 啓真
増田 秀充
三好 一行
山本 恵彦
横山 淳平
◆奈良県
出沖 秀雄
佐竹 祥光
◆和歌山県
中井 克樹
西山 一亨
堀 雄幸
森 泰教
杉若 哲司

◆鳥取県
榎尾 稔正
下園 裕樹
山本 幸利
◆島根県
蔵本 知宏
永井 正智
錦織 勳夫
原田 宏
樋野 智之
◆岡山県
芥田 英賢
石井 英徳
大塚 容二
小川 憲一
衣笠 通亮
谷本 泰法
檀上 隆志
常井 仁美
都守 哲慈
八木 大慈
堀江 正教
松本 誠
安井 智賢
山川 喜久
山田 直子
◆広島県
小松 教清

佐々木 信之
佐藤 元
鹿内 要秀
瀧川 寛之
西河内 靖泰
花本 耕治
益田 康徳
松本 恵行
宮本 和彦
室積 幸生
矢吹 正直
◆山口県
河上 桂子
西嶋 好文
林 幸功
弘中 健一
藤 いね子
藤井 豊子
◆徳島県
岡田 則昭
藤原 学
◆香川県
馬場 和夫
◆愛媛県
森 佳範
◆高知県
市木 保光
高橋 正和

吉田 弦
◆福岡県
一瀬 安弘
工藤 統久
栗原 正典
小河原 昌彦
鈴木 陽一郎
成田 康彦
◆佐賀県
川添 智徳
永石 義雄
◆長崎県
合川 天心
合川 泰通
浅井 円誓
今川 亮生
梶原 一乘
菊田 太郎
田川 邦雄
立石 隆教
堀田 泰淳
堀田 泰仁
村田 孝基
◆熊本県
白石 隆士
岡 裕二
加島 翼
森 千賀子

◆大分県
石井 隆
伊東 祐一
岩尾 栄作
小野 泰秀
菊池 明智
佐藤 俊雄
椎原 正昭
高山 善朗
土岐 光
戸長 良二
久高 修治
宮崎 洋
◆宮崎県
四戸 雅巴
◆鹿児島県
尾上 道雄
兵頭 昌明
平岡 正見
宮原 勇樹
森田 真吾
◆沖縄県
小渡 敬一
宜寿次 均
小橋川 春武
久松 磯也

令和4年度校友会費B（卒業生・現元教職員等会費）のご案内

昨年度は校友会費Bにご協力を賜り御礼申し上げます。

ご協力いただきました会費は同窓会活動ならびに在校生支援に活用させていただきます。

令和4年度につきましても、多くの卒業生・現元教職員の皆様にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■令和4年度 校友会費Bについて

会費	年会費	納入期間	2022年4月1日～2023年3月31日
納入金額	3,000円	納入回数	年会費のため、上記期間内1回
氏名掲載	校友会費Bをお振込いただきました方のお名前を会報に掲載させていただきます。つきましては、掲載を「許可する」、「許可しない」のご希望をお伺いしております。お手数ですが、振込用紙の通信欄に記載がございますので、どちらか一方に〇印をお付けいただき、お振込くださいますようお願い申し上げます。なお、どちらにも記載が無い場合には原則掲載を「許可いただいた」として掲載させていただきます。ご了承ください。		

02 東京	払込取扱票	通常払込料金 加入者負担
口座記号番号	金額	3000
00100000417250	料金	備考
立正大学校友会		
校友会費B		
加入者氏名	会員番号	学部学科名または研究名
立正大学校友会		
氏名・フリガナ	住所	
(ご連絡先電話番号)	日	
	附	
	印	

令和4年度同窓会全国大会

6月25日（土）に立正大学品川キャンパス 石橋湛山記念講堂にて開催しました。

当日は、大学からご来賓として、望月理事長、寺尾学長にご臨席を賜り、開催することが出来ました。

ここ数年は、コロナ禍の影響もあり、開催することが出来ず2年振りとなる開催に卒業生の皆様にも多くご参加を頂き、久しぶりの旧友等の再会もあり、盛会となりました。

記念講演会では、北海道東川町松岡市郎町長と地域プロデューサーの鈴木輝隆氏による「小さな町の大きな挑戦」と題した記念講演会を開催し、皆様興味深く話を聞き入っていました。

当日の様子を下記アドレスからご視聴頂けます。(YouTubeで動画配信)

<https://alumni.rissho.jp/aluminus/>



① 齊藤同窓会長挨拶



② 望月理事長祝辞



③ 寺尾学長祝辞



④ 物故者追善法要



⑤ 記念講演会



⑥ 記念講演会



⑦ 花束贈呈（松岡町長）



⑧ 花束贈呈（鈴木先生）



令和3年度 立正大学同窓会事業報告書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

事業	内容
①定期総会	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
②代議員会	5月29日(土) 品川キャンパス開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面を中止、資料送付により、書面議決を実施 令和2年度事業報告書案・収支決算報告書案・監査報告・令和3年度事業計画書案・収支予算書案・ホームカミングデーについて、その他 臨時2月12日(土) 品川キャンパスより、オンライン配信で実施 会長選挙開票(信任投票)
会議	③理事会 第1回: 4月24日(土) 令和2年度事業報告書(案)・収支決算報告書(案)、令和2年度決算監査報告、令和3年度事業計画書(案)、収支予算書(案)、理事会・代議員会議事録公開について、第1回代議員会運営について、他 第2回: 7月31日(土) 本部役員承認について、令和3年度支部学部助成金申請について、ホームカミングデー開催について、令和4年度全国大会開催について、他 第3回: 10月30日(土) ホームカミングデーについて、会長選挙管理委員会設置及び選挙管理委員会承認について、令和4年度全国大会開催について、他 第4回: 2月26日(土) 令和3年度中間監査報告、2/12開催臨時代議員会会長選挙結果報告、令和4年度役員改正、令和4年度事業計画書(案)、令和4年度予算書(案)、令和4年度代議員日程、令和4年度全国大会開催について、他
	④監査 第1回: 4月22日(木) 令和2年度決算監査 第2回: 12月7日(火) 令和3年度中間監査
	⑤活性化会議 第1回: 4月24日(土)・第2回: 7月31日(土)・第3回: 10月30日(土)・第4回: 2月26日(土)
講演会	校友会主催講演会 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
広報活動	校友会報「たちばな」 校友会報「たちばな」No.47号(4月1日発行)・No.48号(10月1日発行) *校友会との協働連携事業
	校友会ホームページ・生涯メール・Facebook・LINE ①ホームページ・Facebook・LINEによる広報告知 ②生涯メールサービスによる情報提供サービス
	卒業生への広報活動 ①本部・支部・学部同窓会主催行事、クラブ・学部学科OB/OG会などの開催支援と広報告知 ②卒業生への各種情報提供サービス
	在学生・卒業生への広報活動 ③クラブ・サークル活動優勝・受賞時横断幕作製
構成団体活動	校友会 11月6日(土) ホームカミングデー運営協力 校友委員会の運営協力協働連携参加 第1回: 4月14日(水)、第2回: 10月6日(水)、第3回: 12月15日(水)、第4回: 3月16日(水) 保護者懇談会への運営協力 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大等を考慮して中止
	学部同窓会・支部同窓会総会 学部同窓会・支部同窓会総会開催協力ならびに講演会講師派遣への協働連携開催・運営協力
在学生支援 (大学・学園への 賛助を含む)	大学・学園への賛助 大学・学園への賛助
	学生支援 在学生支援(課外活動顕彰助成)・大学院卒業記念品
	その他 その他学生支援(強化クラブお米支援)
会員情報管理	個人情報保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規程に基づく会員情報の適切な収集・管理・運用 新卒会員情報、既卒会員情報の更新および大学・校友会・同窓会協働連携利用 学園新聞・校友会報「たちばな」の発送および学部・支部同窓会事業・活動への会員データ提供
その他	同窓会運営 代議員制による同窓会運営 学部同窓会助成費・支部同窓会助成費 学部同窓会・支部同窓会の総会・研修会・各種行事等の開催支援協力 会員親睦・交流・活動への支援協力 休会支部支援及び支部活性化支援 支部同窓会地域連合制の検討(四国をモデルケースに活性化に力を入れる)

令和3年度 立正大学同窓会決算報告書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

収入の部

科目	令和3年度当初予算	令和3年度決算	増減
構成団体助成費	23,061,250	23,061,250	0
預金利息金	10,000	8,693	1,307
雑収入・寄付金・募金	50,000	0	50,000
事業費収入	150,000	5,000	145,000
前年度繰越金	6,118,858	6,118,858	0
積立金繰入金	0	0	0
総計	29,390,108	29,193,801	196,307

支出の部

科目	令和3年度当初予算	令和3年度決算	増減
旅費交通費	3,368,000	614,636	2,753,364
会議会合費	210,000	0	210,000
通信運搬費	280,000	429,442	▲149,442
印刷製本費	1,000,000	129,690	870,310
委託費	1,089,000	924,000	165,000
手数料報酬	100,000	31,680	68,320
賃借料	80,000	79,200	800
事業費	21,140,410	14,689,067	6,451,343
消耗品費	80,000	280,321	▲200,321
雑費	80,000	48,064	31,936
予備費	1,962,698	0	1,962,698
次年度繰越金	0	11,967,701	▲11,967,701
総計	29,390,108	29,193,801	196,307

積立金

科目	令和3年度当初予算	令和3年度決算	増減
同窓会基金	251,000,000	251,000,000	0
総計	251,000,000	251,000,000	0

令和4年度立正大学同窓会事業計画書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

事業	内容	
会議	全国大会	6月25日（土） 品川キャンパス 石橋湛山記念講堂
	代議員会	5月21日（土） 品川キャンパス 第5会議室（11号館11階） 役員改選の件・令和3年度事業報告書案・収支決算報告書案・監査報告・令和4年度事業計画書案・収支予算書案 ホームカミングデーについて・他
	理事会	第1回：4月23日（土）・第2回：7月9日（土）・第3回：10月29日（土）・第4回：令和5年2月18日（土） 他案件がある場合には随時臨時開催
	監査	第1回：令和4年4月中旬 令和3年度決算監査 第2回：12月上旬 令和4年度中間監査
	各種委員会（総務・財務・広報）	適時
	事業予算合同会議	第1回：令和5年1月24日（火） 令和5年度事業計画案・収支予算案策定
	活性化会議	適時
	専門委員会（教職・女性）	適時
講演会	校友会主催講演会	6月25日（土） 同窓会全国大会で実施 品川キャンパス石橋湛山記念講堂 講師：北海道東川町 松岡市郎町長 地域創生プロデューサー 鈴木輝隆先生
広報活動	校友会報「たちばな」発行	校友会報「たちばな」の編集作業（年2回） *校友会との協働連携事業
	校友会ホームページ・生涯メール・Facebook・LINEの活用	①ホームページ・Facebook・LINEによる広報告知 ②生涯メールサービスによる情報提供サービス
	卒業生への広報活動 在学生・卒業生への広報活動	①本部・支部・学部同窓会主催行事、クラブ・学部学科OB/OG会などの開催支援と広報告知 ②卒業生への各種情報提供サービス ③クラブ・サークル活動優勝・受賞時横断幕作製
構成団体活動	校友会	11月5日（土）ホームカミングデー開催にあたり、運営協力 校友委員会の構成メンバーとして会議へ参加年4回（4月20日・10月12日・12月14日・3月16日・臨時） 校友会主催保護者懇談会開催にあたり、卒業生参加協力他
	学部同窓会・支部同窓会総会	学部同窓会・支部同窓会総会開催協力ならびに講演会講師派遣対応、行事開催運営サポート他
在学生支援 （大学・学園への 賛助を含む）	大学・学園への賛助	大学・学園への賛助
	学生支援	在学生支援（課外活動顕彰助成）
	その他	その他学生支援（強化クラブお米支援）*地域・学生・同窓会との連携強化を今後検討していく。繋がりを活用する。
会員情報管理	収集・管理・運用（協働連携利用）	個人情報の保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規程に基づく会員情報の適切な収集・管理・運用 新卒会員情報・既卒会員情報の更新および大学・校友会・同窓会協働連携利用 学園新聞・校友会報「たちばな」の発送および学部・支部同窓会事業・活動への会員データ提供
その他	同窓会運営	代議員制による同窓会運営 学部同窓会助成費・支部同窓会助成費 学部同窓会・支部同窓会の総会・研修会・各種行事等の開催支援協力 会員親睦・交流・活動への支援協力 休会支部支援及支部活性化支援 支部同窓会地域連合制の検討（四国をモデルケースに活性化に力を入れる）

令和4年度立正大学同窓会予算書 （令和4年4月1日～令和5年3月31日）

収入の部

科目	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	増減
構成団体助成費	24,500,000	23,061,250	1,438,750
預金利息金	10,000	10,000	0
雑収入・寄付金・募金	50,000	50,000	0
事業費収入	150,000	150,000	0
前年度繰越金	11,967,701	6,118,858	5,848,843
積立金繰入金	0	0	0
総計	36,677,701	29,390,108	7,287,593

支出の部

科目	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	増減
旅費交通費	4,199,000	3,368,000	831,000
会議会合費	610,000	210,000	400,000
通信運搬費	280,000	280,000	0
印刷製本費	1,000,000	1,000,000	0
委託費	1,085,000	1,089,000	▲4,000
手数料報酬	100,000	100,000	0
賃借料	0	80,000	▲80,000
事業費	21,691,732	21,140,410	551,322
消耗品費	100,000	80,000	20,000
雑費	100,000	80,000	20,000
立正大学学園開校150周年 記念事業募金寄付	5,000,000	0	5,000,000
予備費	2,511,969	1,962,698	2,420,174
総計	36,677,701	29,390,108	7,287,593

積立金

科目	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	増減
同窓会基金	251,000,000	251,000,000	0
総計	251,000,000	251,000,000	0

代議員会開催報告

5月21日(土)に品川キャンパス第5会議室にて令和4年度第1回立正大学同窓会代議員会を開催しました。当日は、各県支部代議員および学部代議員の方にご参加頂き、本部役員承認、令和3年度事業報告案、収支決算報告案、令和4年度事業計画案、収支予算案について審議がなされ、承認されました。

コロナ禍のなか、対面による開催は2年振りとなり、ソーシャルディスタンスに注意しながら、活発な意見交換の場となりました。



《北海道支部》

- ◆8月20日(土)
- ◆ホテルポールスター札幌
- ◆講演会:「北海道の現状と課題」北海道議会議員 林祐作氏(2011年度経営学部卒業)
- ◆同窓会本部より、齊藤同窓会長・野呂同窓会副会長が出席



《新潟県支部》

- ◆8月27日(土)
- ◆駅まえオフィス
- ◆講演会:「食味向上への飽くなき米づくり」上野治氏(新潟米づくりプロジェクト委託生産者)
- ◆同窓会本部より、齊藤同窓会長・黒米同窓会副会長が出席



学部同窓会総会開催報告

《仏教学部同窓会》

- ◆5月10日(火)
- ◆立正大学品川キャンパス第5(B)会議室
- ◆寺尾英智学長による、講演「現状の立正大学の状況と今後の展望」



《経営学部同窓会》

- ◆5月21日(土)
- ◆立正大学品川キャンパス第3会議室

《文学部同窓会》

- ◆5月28日(土)
- ◆立正大学品川キャンパス第5(B)会議室
- ◆事業決算報告・事業予算計画・役員改選、会報発行等審議

支部同窓会総会開催報告

《東京多摩支部総会》

- ◆6月12日(日)
- ◆八王子市:八王子エルシィ
- ◆立正大学より、150周年記念事業担当部局より、栗田部長が出席



《岡山県支部》

- ◆7月22日(金)
- ◆岡山プラザホテル5階 延養の間
- ◆同窓会本部より、星野顕聡理事出席



《千葉県支部》

- ◆8月27日(土)
- ◆長谷山本土寺
- ◆ご開帳と宝物庫の見学会
- ◆講演会:博物館をめぐる近年の話題 米谷博館長(千葉県立関宿域博物館館長)
- ◆大学より寺尾英智学長が出席



新潟県支部 米作りプロジェクト《田植え編》

6月11日(土)に柏崎市上野氏(同窓会本部委託生産者)の田んぼにて今年度の田植えを行いました。このお米プロジェクトは地域の皆様と立正大学の学生をつなぐことを目指して毎年開催をしており、今年で3年目を迎えます。



秋には美味しいお米を強化クラブの学生へお届けする予定です。

文学部同窓会散策《川越散策》

今期の文学部同窓会散策は、松尾鉄城さん(文学部卒業)のご案内で川越を散策しました。

松尾さんはテレビ番組「ブラタモリ」でも川越を紹介していた方。川越の深い一面を知ることが出来た充実した1日となりました。ご参加頂きました皆様ありがとうございました。

参加者:30名

行程:本川越駅⇒喜多院⇒川越城址⇒川越博物館⇒川越の街並みを自由散策

令和4年度 立正大学橋会定期総会開催報告

令和4年5月28日（土）に、品川キャンパス1号館4階第7会議室にて、昨年に引き続き対面での定期総会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の中、対策を講じて開催出来たこと、皆様に感謝申し上げます。

総会の様子はホームページにて公開しております。

https://alumni.rissho.jp/topics/tachibana/t220606_01_2col.html

令和3年度 立正大学橋会奨励賞授賞式開催報告

立正大学橋会定期総会の開催に合わせて、令和3年度立正大学橋会奨励賞の授賞式が行なわれました。



優秀賞

地球環境科学研究科環境システム学専攻 修士2年 伊東 優希

この度名誉ある優秀賞を頂戴しまして誠にありがとうございます。自身の研究を評価していただけたこと大変嬉しく存じます。私の研究は都市の地下水を災害・修景・環境用水として利用できるよう地下水の水質および利用可能量を明らかにすることを目的としています。そこで東京都品川区の地下水を対象に野外調査やデータ分析・解析を進めています。また地域住民や自治体の皆様と協力し地下水を有効かつ適切に活用

する指針を提供していく予定です。地下水は目に見えないため存在を認識しにくいですが人々にとって必要不可欠な資源です。研究を通じてお伝えできるように日々精進してまいります。

最後に学部から引き続きご指導いただいている安原正也教授、李盛源准教授、地下水調査にご協力いただいている地域住民・自治体の皆様には深く感謝いたします。ありがとうございました。



努力賞

文学部社会学科 4年 大石 怜奈

栄えある賞を授与していただき、心より感謝申し上げます。立正大学LINK（生きづらさに注目した居場所サークル）を設立・運営した功績で第11回モラリズ賞特別賞を頂いた際、残りの大学生活も「生きづらさ」に向き合う覚悟を決めました。ラジオやオンラインイベントで、生きづらい私の経験や立正大学LINKの意義を発信しました。学生団体YouthLinkに加入し、生きづらい学生の分かち合いの場を運営して、活

動の幅を広げました。株式会社JobRainbowの長期インターン生として、PIAMY（レズビアン・セクシュアルマイノリティが繋がるSNSアプリ）のディレクター業務を担当しました。今後の目標は、生きづらい人のロールモデルになることです。発達障害やLGBTQ当事者でも、精神疾患や不登校の経験者でも自分らしく幸せに生きられることを証明します。

令和3年度 立正大学橘会事業報告書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

事業		内容
会議	定期総会	令和3年6月27日(土)
	役員会	令和3年6月27日(土)
	令和3年度橘会奨励賞選考委員会(第26回)	新型コロナウイルス感染症対策に伴い、対面での選考委員会は行わず各審査員が個別に書類選考を行い結果を集約し、会長ならびに副会長2名の承認により受賞者を決定
	会計監査	令和2年度分決算監査：新型コロナウイルス感染症対策に伴い、監査書面を外部監査員ならびに会計監査員、会長、副会長に送付し実施
広報活動	「たちばな」・学園新聞発行	年2回校友会報「たちばな」にて会長挨拶、奨励賞等掲載
	ホームページ・Facebook	橘会からのお知らせ等
在学生支援	災害支援セット配付	令和3年4月に新1年生へ配付
保護者支援	橘会カレンダー発行	令和3年4月に保証人住所宛に発送
	校友会保護者懇談会	実施された全5会場のうち、下記日程において橘会会長が出席 令和3年10月10日(日) 東京都品川区 立正大学品川キャンパス 令和3年12月5日(日) 埼玉県熊谷市 立正大学熊谷キャンパス
会員情報管理	在学生及び保護者会員登録	個人情報保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規定に基づく会員情報の適切な収集・管理・運用
その他		

令和3年度 立正大学橘会収支決算報告書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

収入の部

科目	令和3年度予算額	令和3年度決算額	予算差額	備考
預金利息金	8,000	2,272	5,728	りそな銀行利息
積立金取崩収入	0	0	0	
前年度繰越金	164,841,679	164,841,679	0	
総計	164,849,679	164,843,951	5,728	

支出の部

科目	令和3年度予算額	令和3年度決算額	予算差額	備考
旅費交通費	110,000	45,448	64,552	役員会、正副会長会議
通信運搬費	60,000	0	60,000	
委託費	1,400,000	1,210,000	190,000	橘会カレンダー10,500部、橘会定期総会冊子10,000部
	5,900,000	5,836,600	63,400	災害支援セット3,100セット(令和3年度入学生分)
小計	7,300,000	7,046,600	253,400	
手数料報酬	9,679	5,170	4,509	銀行振込手数料等
事業費	50,000	50,000	0	福利厚生(退任役員記念品)
消耗品費	20,000	0	20,000	事務消耗品購入費
図書資料費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
積立金繰入支出	100,000,000	0	100,000,000	
次年度繰越金	56,000,000	157,696,733	▲101,696,733	
予備費	1,300,000	0	1,300,000	
総計	164,849,679	164,843,951	5,728	

銀行名	令和3年度	令和3年度決算額	増減	口座番号
定期貯金(りそな銀行)	164,000,000	154,000,000	10,000,000	3716***橘父兄会時の積立金
普通貯金(りそな銀行)	821,369	820,495	874	00990***橘父兄会時の積立金
普通貯金(りそな銀行)	4,635	2,856,561	▲2,851,926	1617**** (橘会の口座)
現金	15,675	19,677	▲4,002	
合計	164,841,679	157,696,733	7,144,946	

令和4年度立正大学橋会事業計画書(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

事業	内容	
会議	定期総会	令和4年5月28日(土) 令和3年度事業報告・決算、令和4年度事業計画、予算審議、役員承認
	正副会長会議	必要に応じて開催予定
	常任理事会・理事会	必要に応じて開催予定
	令和4年度橋会奨励賞選考委員会(第27回)	令和5年2月下旬予定
	橋会役員意見交換会	令和5年2月開催予定
講演会	令和4年度賛助会懇親会	令和4年11月5日(土) ホームカミングデーにて開催予定
	会計監査	令和3年度分決算監査: 令和4年4月実施 令和4年度分中間決算監査: 令和4年11月予定
広報活動	キャリアサポート講演会	令和4年11月5日(土) ホームカミングデーにて開催予定
	「たちばな」・学園新聞発行 ホームページ・Facebook	年2回校友会報「たちばな」にて会長挨拶、奨励賞等掲載 橋会からのお知らせ等
在学生支援	令和3年度橋会奨励賞授与式(第26回)	令和4年5月28日(土)(定期総会時)
	災害支援セット配付	令和4年4月に新1年生へ配付
	就職祈願御守配付	キャリアサポートセンターイベントにて配布予定
保護者支援	立正150橋会基金	勉学意欲があり成績優秀で、経済上学費の支弁が困難である学生に対して、その学修や研究活動を奨励することを目的とした基金を設立。実施に向けて役員会等を開催予定
	橋会カレンダー発行	令和4年4月に保証人住所宛に発送
	校友会保護者懇談会	下記の日程にて橋会会長、副会長の調整により出席を予定 令和4年6月4日(土) 新潟県新潟市万代シルバーホテル 令和4年6月11日(土) 岩手県盛岡市ホテルメトロポリタン盛岡 令和4年7月17日(日) 東京都品川区 立正大学品川キャンパス 令和4年8月6日(土) 静岡県静岡市中島屋グランドホテル 令和4年8月27日(土) 広島県広島市 広島ガーデンパレス 令和4年9月10日(土) 福岡県福岡市 ホテルモントレ ラ・スール福岡 令和4年9月11日(日) 大阪府大阪市大阪キャッスルホテル
会員情報管理 その他	在学生及び保護者会員登録 個人情報保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規定に基づく会員情報の適切な収集・管理・運用	

令和4年度立正大学橋会収支予算書(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

収入の部【橋会】				(単位 円)
科目	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	対前年度増減	備考
構成団体助成金	1,000,000	0	1,000,000	
預金利息金	5,000	8,000	△ 3,000	
積立金取崩収入	0	0	0	
前年度繰越金	157,696,733	164,841,679	△ 7,144,946	
総計	158,701,733	164,849,679	△ 6,147,946	
支出の部【橋会】				
科目	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	対前年度増減	備考
旅費交通費	110,000	110,000	0	理事会、橋会会計監査、意見交換会、奨励賞選考委員会等
会議会合費	50,000	0	50,000	会議用お茶等
通信運搬費	100,000	60,000	40,000	各種会議案内発送、レターパック各種・切手・はがき購入
印刷製本費	100,000	0	100,000	各種会議案内・出欠葉書等作成
委託費	1,400,000	1,400,000	0	橋会カレンダー作成、橋会定期総会次第作成等
	160,000	0	160,000	ホームページ更新、就職祈願御守り作成
手数料報酬	5,000,000	5,900,000	△ 900,000	令和4年度新入生防災支援セット3,100セット×単価1,590円+消費税(¥448,091) = ¥4,929,000
	6,000	9,679	△ 3,679	銀行振込手数料等
賃借料	100,000	0	100,000	コピー機・印刷機リース料
事業費	50,000	50,000	0	福利厚生(退任役員記念品)
	450,000	0	450,000	橋会奨励賞(副賞、橋等)
消耗品費	20,000	20,000	0	コピー機インク代
雑費	200,000	0	200,000	経理用パソコン式購入
寄付金	5,000,000	0	5,000,000	立正大学開校150周年記念募金寄付
積立金繰入支出	100,000,000	100,000,000	0	立正150橋会基金設立原資
次年度繰越金	44,655,733	56,000,000	△ 11,344,267	
予備費	1,300,000	1,300,000	0	普通預金
総計	158,701,733	164,849,679	△ 6,147,946	
【別掲】				
	令和4年度	令和3年度	増減	備考
定期預金(りそな銀行)	154,000,000	164,000,000	△ 10,000,000	内訳: ¥100,000,000 1口、¥40,000,000 1口、¥14,000,000×1口
普通預金(りそな銀行)	820,495	821,369	△ 874	橋父兄会時の積立金倉
普通預金(りそな銀行)	2,856,561	4,635	2,851,926	橋会の口座
現金	19,677	15,675	4,002	
合計	157,696,733	164,841,679	△ 7,144,946	

立正150橋会基金の募集に関するお知らせ

この度、詳細について検討中となっております「立正150橋会基金」につきまして、本年6月1日より第1期の募集を開始し、橋会役員による選考を経て採用された7名に基金より奨学金を支給いたしました。現在、第2期の採用募集を開始しておりますので、以下をご覧ください、ご応募くださいますようお願い申し上げます。

【立正150橋会基金 第2期採用者募集】

◆主催機関: 立正大学橋会 ◆取扱い部署(委託先): 学長室校友課 ◆形式: 給付 ◆給付額: 300,000円 ◆採用人数: 若干名
 <応募資格> ①立正大学 学部生全学年 ②勉学意欲に富み、成績・人物ともに優秀であり、家計急変の経済的理由により学費の支弁と学業の継続が困難な者

<募集期間> 第2期: 令和4年10月3日(月)～令和4年11月30日(水)

その他詳細については、校友会ホームページ内の立正150橋会基金をご参照ください。

URL: <https://alumni.rissho.jp/tachibana/rissho150.html>

『開校百五十周年』を迎えて 往時の諸先生の懐かしき姿を思い起こす

立正大学特別名誉教授 渡邊 寶陽

今年、本学が、明治新政府による『日蓮宗大教院』認可の明治五年から数えて、「開校百五十周年」を迎えた。関係諸氏の一致協力体制のお力によって、見事な諸建築が完成した事を嬉しく思う。《記念式典》が盛大に行われ、望月兼雄理事長・寺尾英智学長・大場一人中学高等学校長が、声を揃えて、今後の「立正大学学園」の将来図を語ったのが、印象的であった。

思えば、三十年前、《大崎再開発》の大事業が、「開校百二十周年」を期して見事に成就したのは、当時の理事長「吉田文堯師」の学内外の衆知を集めた手腕によるものであったとしみじみ思う。たまたま愚生が学長に推された時期で《日本私立大学連盟》で「日本女子大学」総長であった青木生子先生から、『立正大学』の発展ぶりを讃えられたことがあった。以降百三十周年、百四十周年の度毎に、施設の充実、学的充実が図られてきた。「ローマは一日にして成らず」という。今後とも、学内一致協力による『立正大学学園』の発展を祈るものである。

老人になると、学生時代の光景を思い起こす。東京大学名誉教授であった「辻善之助博士が老体を押し、大学の坂道を登る光景が目には焼き付いている。先生は『日本仏教史』全十巻を岩波書店から上梓して、国から「文化勲章」を贈られた。辻先生と双壁をなした地理学科の田中啓爾先生は、当時『地図』監修は、ほとんど同先生の手によるものであった。史学科では、彼の帝銀事件の平沢被告の筆跡鑑定人として有名な伊木寿一先生がお出でであった。先生は、慶應義塾大学にも出講されていたようで、上野『寛永寺』の浦井正明貫首も門下であったという。愚生が、淑徳大学

の「池袋公開講座」でお目にかかり、同師所蔵の天海僧正の筆跡についての講義を聴講したことがある。勿論、仏教学部では「日蓮教学の泰斗」望月歆厚博士や「華嚴教学」の坂本幸男博士等の講義を受講したが、文学部の諸先生の講義もいろいろ受講したのであった。また英国人の父と水戸藩士の令嬢の間に生まれたジョン・ブリンクリー先生の英会話の時間なども楽しかった。

ついつい、受講した先生方のことを誌してしまっただが、坂本幸男先生が受勲された時であったか？台東区竜泉寺という下町の普茶料理店で、ささやかな祝いの席に、経済学部長の藤田進先生が若い三辺博之先生等を引き連れて同席されたことなどを思い起こす。「仏教学部は赤字だけれど、学的レベルが評価されていることを大切にしたい」といった感想を嬉しくお聞きした。

戦後の動乱期で、大学にもその余波が及んだ。東京周辺に工場が集中するのを避けるため、「工場等制限法」が制定され、その余波で大学の一・二年生は、各「学部」を離れて、郊外に設けられた「教養部」に所属することとなった。及川真学理事長は苦慮し、梅山信太郎理事を理事長に推して、「熊谷校地」十二万坪を求め、「教養部」が設置された。その後「教養部」は解体されて、各学部の所属となったが、旧「教養部」の教員には、異色の方が多く、面白い組織であったようだ。

それらの方々には、鬼籍に入った方も多い。今年、沼義昭名誉教授（文学部社会学科教授）が逝去した。「さらばイスカングルよ」に興味を抱いて、「スターシア」に観音信仰を重ねて論じた異色の方だった。



立正大学学園開校150周年記念式典法要



熊谷キャンパス 初めての入学式



【齋藤 吉勝 (ペンネーム=中澤 吉勝) 氏】

1964年、宮城県生まれ
1987年、立正大学文学部国文学科卒業。
卒業後は仙台の業界新聞記者、宮城県公立中学校国語科教諭を経験。
現在も仕事のかたわら、『雨月物語』の研究、小説等の執筆を続けている。

【問合せ先】 yoshimasa.1279@gmail.com
【書籍】 (Amazonキンドルにて購読できます)



謎解き「貧福論」私見『雨月物語』論 ¥500-



くす師・秋成と近世呪術文学 私見『雨月物語』論 ¥500-

【あらすじ紹介】

「謎解き「貧福論」私見『雨月物語』論」

『雨月物語』の最終篇をかざる「貧福論」。あの謎多き無味乾燥な「金銭問答論」には、実はく呪いの感情>が多分に含まれていた――。主要登場人物の「蒲生氏郷」「岡左内」、そしてその弟の「岡重政」、「豊臣秀吉」等の歴史をひもとくことによって、そのく呪い>は二重三重に「御霊(ごりょう)信仰」の問題へと収斂(しゅうれん)されていく。参考資料28点、400字詰め原稿用紙100枚の論文大作。「私見『雨月物語』論」PART4、ここに完成!

「くす師・秋成と近世呪術文学 私見『雨月物語』論」

作者・上田秋成は読本作者である前に「くす師(医師)」であり、くす師になるには陰陽五行思想や易の理解が必要であった。『雨月物語』の「白」と「青」の謎とは何か?なぜ「天狗」や「蛇」や「鬼」が登場するのか?陰陽五行の立場から筆者はわかりやすくその謎にせまり、『雨月物語』の構成やテーマをとき明かす。筆者の「私見『雨月物語』論」最終章がここに完結!!

【宮澤 和樹 氏】

1964年、岩手県生まれ
1987年、立正大学文学部哲学科卒業。
宮沢賢治の実弟・清六さんの孫。卒業後は岩手県花巻市にて林風舎を経営。
2015年リニューアルした宮沢賢治記念館の展示を監修。

【書籍】 (Amazonキンドルまたは各書店にて購入できます)



わたしの宮沢賢治 祖父・清六と「賢治さん」 ¥1,540- (Amazonでは¥955-)

【あらすじ紹介】

「わたしの宮沢賢治 祖父・清六と「賢治さん」

自然への畏敬といのちへの愛一。「賢治の心」を今こそ伝えたい。著者にとって大伯父である「賢治さん」と祖父・清六さんは、二人で一人。いかにして「宮沢賢治」を世に知らしめた祖父の志を継ぎ、「賢治の語り部」となったかを、ファミリーに共通の、含羞に満ちた語り口で記します。

INFORMATION

立正大学生涯メールに関するご案内

立正大学では、卒業生・修了生が卒業後も使用出来るメールサービスを行なっております。

同窓生同士の交流を始め、大学との情報交換等にご利用頂ければと存じます。

メールサービスは無償・永年利用可能となります。

ただし、生涯メール利用のお申込後、1年間メールサービスへのログインが無かった場合は、メールサービスの管理上、利用を停止させていただきますので、ご了承ください。

なお、メールご利用の再開につきましては、学長室 校友課宛にご連絡をください。ご利用再開のお手続を行わせていただきます。生涯メールにつきましては、校友会ホームページへも掲載がございますので、併せてご参照ください。

【立正大学校友会ホームページ】

https://alumni.rissho.jp/inquiry/mail.html

【お問い合わせ先】 学長室校友課 (TEL) 03-3493-6673 (Email) alu@ris.ac.jp

校友会会員情報について

ご登録を頂いておりますお名前・ご住所・電話番号・勤務先等のご変更および訂正等がございましたら、下記までご連絡ください。

【変更内容】

- ◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号
◆メールアドレス ◆勤務先・職業

*変更に関するご連絡を頂く場合には、校友会会員番号(校友会報・学園新聞宛名下にある番号)を併せてお知らせください。

【お問合わせ・お届け先】

立正大学学長室校友課

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

☎03-3493-6673 FAX: 03-3493-9068

Email: alu@ris.ac.jp

■専用紙は立正大学校友会ホームページよりダウンロード頂けます(https://alumni.rissho.jp/inquiry/data.html)

【お知らせください】

◆卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の方のご活躍情報がございましたら、お寄せ下さい。

教職員訃報

【令和4年4月1日～令和4年8月31日】

- 元大学事務局図書館熊谷学術情報課 海 津 博 之 氏 (5月4日逝去)
元文学部教授 白 井 義 昭 氏 (5月9日逝去)
元職員(総務部総務課) 辻 井 秀 之 氏 (5月19日逝去)
元事務局学生部品川担当部長 瀧 澤 裕 之 氏 (7月19日逝去)

ご冥福をお祈り申し上げます



発行者

立正大学校友会 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

発行人

立正大学長・校友会長 寺尾英智

編集

立正大学学長室校友課

電話

03-3493-6673

URL

https://alumni.rissho.jp/